

【工夫のポイント】

- ほぼ全ての園地に給水栓を設置したことで、**マルチドリップ方式の導入による安定した水供給**が実現。
- 地域全域に交通網が形成され、**スピードスプレーヤー(SS)がほ場に導入可能に**。
- 機能性表示食品への認定を皮切りに、**「三ヶ日みかん」の販路開拓、輸出**を強化。

畑地かんがい施設整備による安定した水供給ときめ細やかな水管理

かんがい施設が整備されたことで、**マルチドリップ方式**によるきめ細やかな水管理により、**高精度みかん生産が実現**。



基盤

基盤整備
(S50年～H21年)

【整備前】

谷溪水や河川水を小型トラック等で園地まで運搬し、農業用水として利用。

傾斜地が多く、かん水や防除は手作業で行われていたことから、規模拡大やみかんの品質向上が困難。



【取組地域の概要】

- 位置 はままつし
静岡県浜松市



- 主要作物
みかん

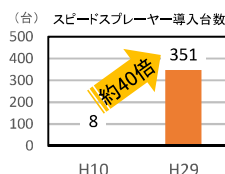
- 主な支援施策

- ・国営浜名湖北部農業水利事業(S50～H元)
- ・県営畑地帯総合整備事業(S51～H21)
- ・広域営農団地農道整備事業(S59～H21)
- ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

(H20～)

生産現場

農道整備による機械化・省力化の取組



- 農道整備によって、**輸送・作業時間が短縮**。
- **スピードスプレーヤー(SS)の導入数が飛躍的に増加し、農薬散布に係る労力が軽減**。

加工・流通

「三ヶ日みかん」の高付加価値化と輸出の取組



- **果実として全国初の機能性表示食品に認定**され、H27年度産よりパッケージに表示。
- H28年度から**カナダへの輸出**を実施。

担い手

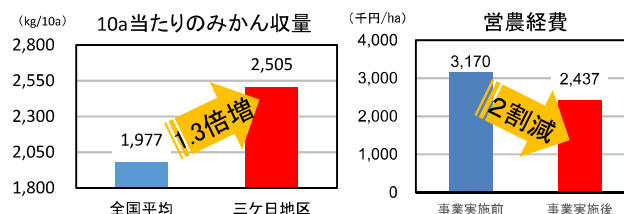
作業受託組織の活動を通じた産地維持の取組



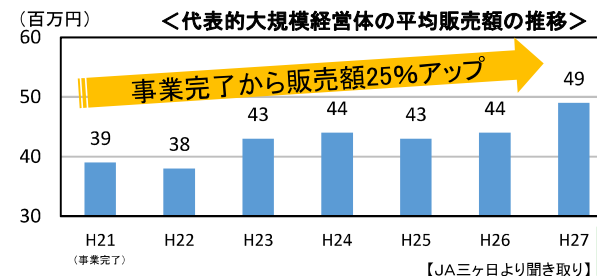
- **地域の担い手農家を中心に作業受託組織を設立し、改植、整地、施肥、防除等の作業を請け負い、労働力不足に対応**。
- 現在**3組織(計28名)が活躍中**。

畑地かんがい施設整備を契機とした高品質みかん生産による儲かる農業の実現

- かんがい施設の設置により、**反当たり収量が全国平均の1.3倍増、営農経費が事業実施後に2割減**。



- **経営面積10ha超、販売額5,000万円超**を達成する経営体が現れ、**大規模経営体の平均販売額が25%増加**。



【JA三ヶ日より聞き取り】